

### どの子どもいつも以上にはりきっていました



授業参観・懇談会では大変お世話様になり、ありがとうございました。子どもたちはどの子ども、いつも以上に頑張っていたように思います。やはり、お父さん・お母さんをはじめ、お家の方が「自分を見てくれている」と思うからこそ頑張れるのですね。大人だって同じです。頑張りを褒め、よさを認め、やる気にさせ、さらに頑張らせる、これこそ大きな成長への近道です。

また、学級や学年、学校全体に関わってご不明なこと、ご不満なこと、ご意見等がありましたら、遠慮なくいつでもお話しください。

### 5年の臨海学校と6年の修学旅行



5年の臨海学校を8月1日(火)・2日(水)の1泊2日の日程で、新潟県長岡市寺泊にあります「伊勢崎市臨海学校」にて行います。コロナ禍では、この臨海学校は全市的に実施を見合わせておりましたが、今年度より、伊勢崎市教育委員会の判断で、全市的に1泊2日で行うこととなりました。(コロナ禍前は2泊3日で実施)

現在、5年生は臨海学校に向けて事前学習や準備等を着々と進めておるところです。

また、6年生の修学旅行ですが、コロナ禍前と同様、9月20日(水)・21日(木)、鎌倉・東京方面へ1泊2日の日程で出かけます。

旅行等に限らず、コロナ禍では様々な教育活動が中止・変更・縮小を余儀なくされました。向後、真に子どもたちに有意義・有益な教育活動に限り、コロナ禍前の状態に戻してまいります。



### 三郷小ホームページ 「最近のできごと」



三郷っ子だよりの第4号でもお伝えしましたが、毎日、三郷小ホームページの「最近のできごと」を更新しております。

夕食時の話題の一つにでもしていただけると幸いです。

「今日、学校でこんなことがあったの?」「うん、そうそう、〇〇〇〇でとてもおもしろかったよ」といった具合に、親子の会話もはずむのでは・・・。

### 夏場の不審者等の対策について

夏場になってきますと、一段と痴漢や不審者による子どもたちの被害が心配になります。

学校では「いかのおすし」を機会あるごとに指導しています。「いかのおすし」は、子どもが不審者から身を守るために大切な5つの行動を、覚えやすいフレーズで示した合い言葉です。

もともとは警視庁少年育成課と東京都が子どもの防犯学習のために考案した標語のようですが、今では全国に広がっています。



「**い**か」ない 「**の**」らない 「**お**」おごえをだす 「**す**」ぐにげる 「**し**」しらせる

しつこいようですが、ご家庭でも再度、子どもさんと確認してみてください。また、通学路の「子ども安全協力の家」なども、お休みの時にお子さんと確認するのも大切かと思えます。なお、不審者に「声をかけられた」「つきまとわれた」「身体を触られた」等々があった場合、三郷小あてにご連絡をいただくことが圧倒的に多いのですが、すぐに不審者を確認(確保)し、二次被害を防止し、安全と安心を担保するためにも、まずは「110番通報」をお願いできればと考えます。もちろん、保護者の方のお考えが最優先ですので、強制ではありません。

110番通報をすると、前橋市にある群馬県警察本部につながり、そこから事案発生現場に最も近いパトカーに無線で指示をするそうです。パトカーは赤色灯をつけたものばかりではなく、覆面パトカーも巡回しています。

私たち大人の的確・迅速な対応で、大切な子どもたちを犯罪から守りきりましょう。

なお、「0270-26-0110」は伊勢崎警察署の電話番号です。

## 温かな言葉や心優しい振る舞いがあふれる学校に



三郷っ子だよりの第3号で、「思いやり生活」についてお伝えしました。三郷小の688名の児童が安心して安全に快適に勉強や運動に取り組むためには、この「思いやり」こそが、生活の基盤となります。ところが、このところいろいろな学年や学級で「心痛むトラブル」が起きています。校長としても（三郷地区の一住民としても）非常に悲しく残念なことです。

相手の痛みがわかる人、自分に厳しく他人に優しい人、そんな子どもを三郷小では育てたいと強く思っております。

過日、全学年、全クラスでこの「思いやり」について、あらためて児童と担任で考えました。温かな言葉、心優しい振る舞いがあふれる学校にしたい、職員には再度校長の思いと願いを伝えました。

別途、何回も保護者の皆様方にはお願いいたしました、登下校時の送迎についてです。保護者の皆様方のご理解とご協力をいただき、学校敷地内及び学校周辺道路上での駐停車が、ゼロではありませんが、ほとんどなくなりました。ありがとうございました。感謝申し上げます。正しく生きる親の背中を見て、子どもは正しく成長するのですね。

## 生成AIについて

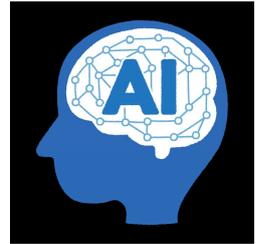
6月12日(月)の伊勢崎市議会にて、臂泰雄市長が一般質問への答弁の際、対話型人工知能(AI)「チャットGPT」が作成した文章を読み上げたことは、新聞報道等でもご存知かと思ます。

「伊勢崎市長として生成AIを使用した感想を求められています。200字で教えてください」と入力し、答弁が出来上がったとのことでした。私も使ったことがあり、大変便利です。いなあとびっくりしました。

ところで、学習指導要領では、情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力として位置付けられており、AIを効果的に活用すること、自身の考えを形成するために活用すること等は重要なことでもあります。

しかしその一方で、中央教育審議会特別委員会が指摘しているように、AIの教育現場での活用は、子どもたちの思考力や創造性への影響、個人情報漏洩、著作権の保護などのリスクを考慮する必要もあります。小学校の場合、特に子どもたちの発達段階を考慮した時、やはり教員の指導支援のもとで使用することが望ましいと私は考えております。

いずれにしても、文部科学省や教育委員会からの通知等を待って、三郷小のマニュアル、指導支援体制、チェック体制等々を整えてまいりたいと考えております。



## 子どもたちのみずみずしい感性 いいですね

「三郷っ子だよりの第5号を発行以降、上毛新聞に掲載された本校児童の力作を以下に紹介いたします。子どもの感性っていいですね。

<6月10日(土)「上毛ジュニア俳壇 朝の一句」掲載>  
いちごがり赤くきらきらひかてる 3年 蓮沼 来望さん

<6月15日(木)「上毛ジュニア俳壇」掲載>  
ちようちよくるまぐらいダッシュダ 5年 阿久津 魁里さん  
桜ちる進きゆう前にひらひらと 6年 高橋 あかりさん  
しゃぼん玉大きくするため実験だ 6年 萩原 維音さん

<6月22日(木)「上毛ジュニア俳壇」掲載>  
しばふ上ねて見る空は夕焼けだ 5年 金澤 侑芽さん  
夏の空広がる青があざやかだ 5年 鯨井 翔太さん  
祖母の家蚊とりせんこうつけている 5年 黒石 陽太さん  
自転車て夏の風を切っていく 5年 高橋 幸大さん  
夏の空無限に広がる青い波 5年 中村 壮さん

<6月22日(木)「上毛ジュニア詩壇」掲載>

ぼくのニンジン  
たねからそだてたぼくのニンジン  
ザラザラはっぱになってきた  
そろそろひっこぬくとき  
やさしい力でひっこぬく  
ちょっと力を入れてひっこぬく  
しゅうかくしたら何にするかな

3年 坂本 紘基さん

